

平成19年海面漁業・養殖業生産統計(概数) (鹿児島県)

—— 海面漁業は大幅減少 ——

【調査結果の概要】

平成19年の鹿児島県における海面漁業・養殖業の生産量は14万5,468 tで、前年に比べ1万384 t (6.7%) 減少しました。

- 1 海面漁業の漁獲量は8万1,974 tで、いわし類、かつお類が増加したものの、いか類、まぐろ類が減少したことから、前年に比べ1万2,345 t (13.1%) 減少しました。
- 2 海面養殖業の収穫量は6万3,494 tで、のり類、ひらめが減少したものの、ぶり類、まだいが増加したことから、前年に比べ1,961 t (3.2%) 増加しました。

図1 海面漁業・養殖業生産量の推移

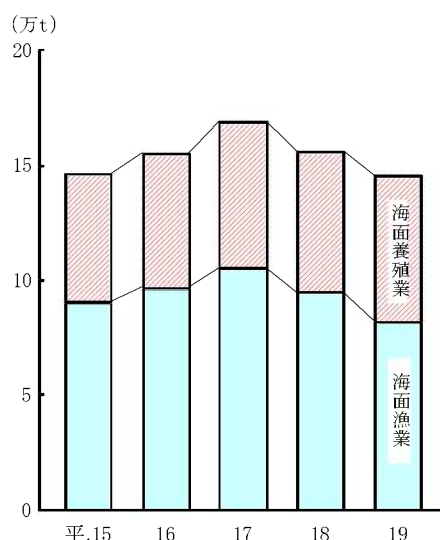


表 海面漁業・養殖業生産量

| 区 分 | 平. 19 | 18 | 対前年差 | 対前年増減率 |
|-----------|---------|---------|----------|--------|
| | t | t | t | % |
| 海面漁業・養殖業計 | 145 468 | 155 852 | △ 10 384 | △ 6.7 |
| 海面漁業 | 81 974 | 94 319 | △ 12 345 | △ 13.1 |
| 海面養殖業 | 63 494 | 61 533 | 1 961 | 3.2 |

【解説】

1 海面漁業

(1) 主要漁業種類別漁獲量

- ア 釣の漁獲量は2万5,071 tで、前年に比べ7,944 t (24.1%) 減少しました。これは、かつお類が増加したものの、いか類が減少したためです。
- イ まき網の漁獲量は2万1,074 tで、前年に比べ856 t (3.9%) 減少しました。これは、いわし類は増加したものの、あじ類、さば類等が減少したためです。
- ウ はえ縄の漁獲量は1万3,722 tで、前年に比べ4,608 t (25.1%) 減少しました。これは、まぐろ類が減少したためです。

エ 船びき網の漁獲量は8,992 tで、前年に比べ158 t (1.8%)増加しました。

これは、いわし類が増加したためです。

オ 定置網の漁獲量は5,404 tで、前年に比べ361 t (7.2%)増加しました。

これは、いわし類が増加したためです。

(2) 主要魚種別漁獲量

ア いわし類の漁獲量は1万7,976 tで、前年に比べ4,060 t (29.2%)増加しました。

これは、まき網、船びき網、定置網で漁獲量が増加したためです。

イ まぐろ類の漁獲量は1万3,655 tで、前年に比べ4,654 t (25.4%)減少しました。

これは、はえ縄で漁獲量が減少したためです。

ウ いか類の漁獲量は1万1,347 tで、前年に比べ8,550 t (43.0%)減少しました。

これは、釣で漁獲量が減少したためです。

エ かつお類の漁獲量は9,937 tで、前年に比べ1,118 t (12.7%)増加しました。

これは釣で漁獲量が増加したためです。

オ さば類の漁獲量は9,133 tで、前年に比べ2,498 t (21.5%)減少しました。

これは、まき網で漁獲量が減少したためです。

カ あじ類の漁獲量は4,165 tで、前年に比べ1,117 t (21.1%)減少しました。

これは、まき網で漁獲量が減少したためです。

図2 主要漁業種類別漁獲量の推移

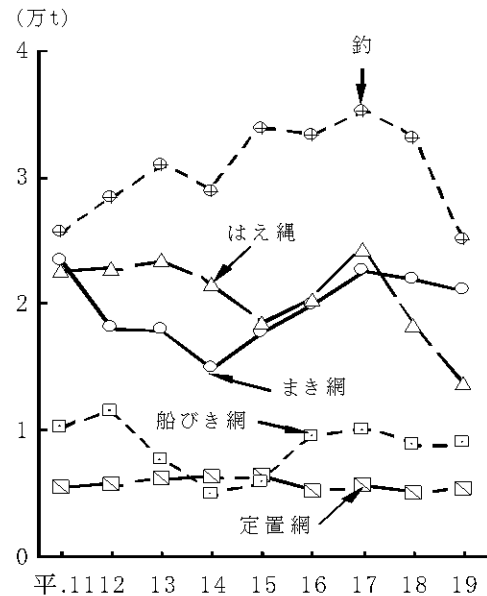
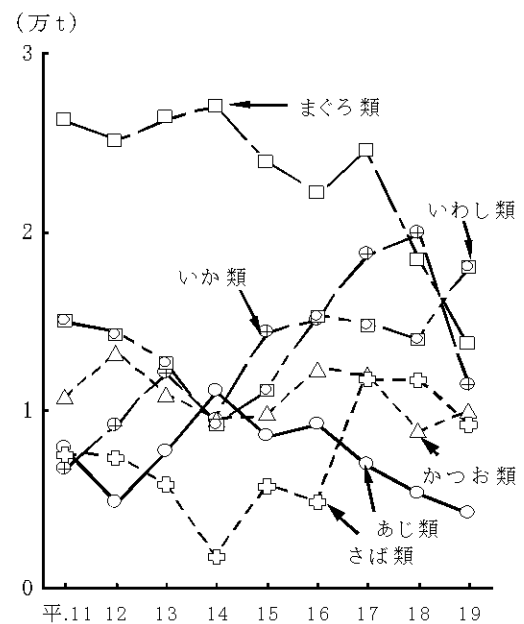


図3 主要魚種別漁獲量の推移



2 海面養殖業

(1) ぶり類の収穫量は5万9,094 tで、前年に比べ1,798 t (3.1%)増加しました。

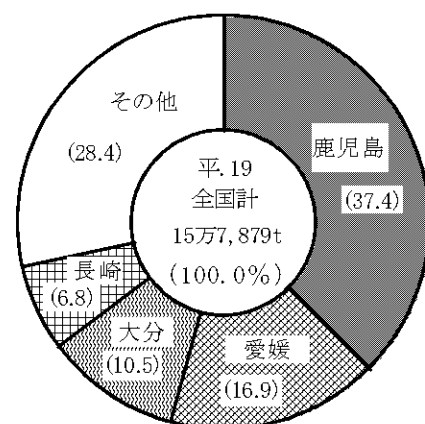
これは、もじゃこの導入量が前年に比べ回復したことや、かんぱちのブランド化が進んだことによる需要増加等のためです。

なお、全国に占める割合は37.4%で、平成5年以降、15年連続して1位となっています。

(2) のり類の収穫量は779 tで、前年に比べ133t (14.6%)減少しました。

これは、水温等の環境が悪く、生育が不順だったためです。

図4 ぶり類収穫量の県別割合



【統計表】

1 海面漁業主要漁業種類別漁獲量

| 区 分 | 平.19 | 18 | 対前年差 | 対前年比 | 構成比 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | t | t | t | % | % |
| 計 | 81 974 | 94 319 | 12 345 | 86.9 | 100.0 |
| 底 び き 網 | 622 | 711 | 89 | 87.5 | 0.8 |
| 船 び き 網 | 8 992 | 8 834 | 158 | 101.8 | 11.0 |
| ま き 網 | 21 074 | 21 930 | 856 | 96.1 | 25.7 |
| 刺 網 | 2 792 | 2 769 | 23 | 100.8 | 3.4 |
| 定 置 網 | 5 404 | 5 043 | 361 | 107.2 | 6.6 |
| その他の網漁業 | 3 073 | 2 239 | 834 | 137.2 | 3.7 |
| は え 縄 | 13 722 | 18 330 | 4 608 | 74.9 | 16.7 |
| 釣 | 25 071 | 33 015 | 7 944 | 75.9 | 30.6 |
| その他の漁業 | 1 224 | 1 448 | 224 | 84.5 | 1.5 |

2 海面漁業主要魚種別漁獲量

| 区 分 | 平.19 | 18 | 対前年差 | 対前年比 | 構成比 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | t | t | t | % | % |
| 計 | 81 974 | 94 319 | 12 345 | 86.9 | 100.0 |
| ま ぐ ろ 類 | 13 655 | 18 309 | 4 654 | 74.6 | 16.7 |
| か つ お 類 | 9 937 | 8 819 | 1 118 | 112.7 | 12.1 |
| い わ し 類 | 17 976 | 13 916 | 4 060 | 129.2 | 21.9 |
| あ じ 類 | 4 165 | 5 282 | 1 117 | 78.9 | 5.1 |
| さ ば 類 | 9 133 | 11 631 | 2 498 | 78.5 | 11.1 |
| い か 類 | 11 347 | 19 897 | 8 550 | 57.0 | 13.8 |
| その他の魚種 | 15 762 | 16 465 | 703 | 95.7 | 19.3 |

3 海面養殖業主要魚種別収獲量

| 区 分 | 平.19 | 18 | 対前年差 | 対前年比 | 構成比 |
|----------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | t | t | t | % | % |
| 計 | 63 494 | 61 533 | 1 961 | 103.2 | 100.0 |
| ぶ り 類 | 59 094 | 57 296 | 1 798 | 103.1 | 93.1 |
| うち、かんぱち | 30 479 | 28 975 | 1 504 | 105.2 | 48.0 |
| ま だ い | 626 | 298 | 328 | 210.1 | 1.0 |
| ひ ら め | 645 | 751 | 106 | 85.9 | 1.0 |
| くるまえび | 504 | 427 | 77 | 118.0 | 0.8 |
| のり類(生重量) | 779 | 912 | 133 | 85.4 | 1.2 |
| その他の魚種 | 1 845 | 1 848 | 3 | 99.8 | 2.9 |

【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、単位未満を四捨五入したため、計と内訳は一致しない場合があります。
- 2 表中に用いた記号は以下のとおりです。
「 」・・・負数又は減少したもの

【調査の仕様】

- 1 調査の目的
本調査は、海面の漁業・養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の基礎資料を整備することを目的としています。
- 2 調査の対象
本調査は、鹿児島県内の水揚機関、海面漁業・養殖業経営体を調査対象としています。
- 3 調査期間
平成19年1月1日から12月31日までを調査期間としています。
なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、航海の区切りとなる日の属する年に含めて調査を行っています。
- 4 調査方法
調査員が水揚機関又は海面漁業経営体に調査票を配布し、自計申告する方法、又は調査員による面接聞き取りの方法や、漁獲成績報告書の取りまとめによって行います。
- 5 用語の説明
海面漁業とは、海面において利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として行う漁業生産の行為をいいます。
海面養殖業とは、海面又は海面以外に設けられた海水面において、人工施設を施して、水産動植物を集約的に育成し、収穫する事業をいいます。

この資料の数値は概数であり、確定値については、平成21年3月刊行予定の『第55次鹿児島農林水産統計年報』に掲載します。

【関連リンク】

水産施策関連ページ

<http://www.jfa.maff.go.jp/>

農林水産省公表の水産関係統計調査結果

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

分野別分類データは「水産業」に分類しています。

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
生産流通消費統計課 統計管理官

T E L : (直通) 099(222)7548

F A X : 099(224)1501

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
統計企画課 企画・分析係

T E L : (直通) 099(222)7523

F A X : 099(224)1501